



林業福島

No. **650**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



10 2018

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 緑風たなびく



新たな森林経営管理に向けて

福島県森林組合連合会
代表理事会長 秋 元 公 夫

福島県森林組合連合会の運営に当たり、平素よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年六月九日には、いわき市で「第四七回全国林業後継者大会」、翌十日には、南相馬市において天皇皇后両陛下をお迎えして「第六九回全国植樹祭」が開催され、東日本大震災からの復興に力強く歩む本県の姿とご支援への感謝を発信し、本県の森林・林業の再興の更なる進展の大きな契機となるものと決意を新たにいたしましたところであります。

さて、森林林業を巡る状況は、大きな変革期を迎えております。

まずは森林組合系統が森林整備の財源として要望してきた「森林環境税（仮称）」の創設が、昨年の与党税制調査会において、平成三六年度から実施することが答申され、今後関係法令が整備される見込みであります。

これに先立ち、平成三二年度からは「森林環境譲与税（仮称）」として国が借り入れをして、県・市町村に交付されることが決定されております。

また、新たに森林経営管理法が制定され、森林所有者に適切な森林管理を促すために森林管理の責務を明確化することや、市町村が森林管理の委託を受け意欲と能力のある林業経営者に再委託するなどの新たな森林管理システムが構築されることとなりました。

これらの新たな動きの特徴は、市町村が主体となって展開されることですが、森林組合は、地域の森林林業に精通しており、職員は森林林業に関する知識や技術力と林業に関する企画力を有する技術者集団でありますので、今後、新たな森林林業の展開に向けて積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。

東京電力の原発事故発生から八年目を迎えましたが、今なお多くの森林組合員が避難生活を余儀なくされております。また、避難指示区域の解除が進む中、森林への立ち入りが制限される区域がある他、阿武隈山系を中心に県内一円でしいたけ原木の生産が困難であることや、加えて県内の大部分の市町村で野生きのこ出荷が制限されているなど原発事故に伴う放射性物質の影響が続いています。

このような中「復興・創生期間」も折り返しとなる三年目を迎えましたが、震災・原発事故後まだまだ解決できない森林整備等多くの課題があり、復興・創生期間後も継続して取組みが必要です。関係機関と連携のもと森林組合が一丸となってふくしま森林・林業の再生を成し遂げていきたいと考えておりますので、皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

《も く じ》

とびら	浅川町立あさかわこども園	6
新たな森林経営管理に向けて	平成31年度福島県予算編成に対する要望聴取会	7
福島県森林組合連合会	普及指導員通信	8
代表理事会長 秋 元 公 夫	森林管理署メモ	9
「第1回ふくしま植樹祭～ABMORI～」を開催します	木連だより	10
林業研究センターだより	木に触れて豊かな心を育む「木育」⑦	11
東北・北海道ブロック平成30年度林業グループ	木材市況・ふくしま東西南北	12
コンクールに参加して	はなしのひろば・お知らせコーナー	13

「第1回ふくしま植樹祭～ABMORI～」を開催します

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

「第69回全国植樹祭ふくしま2018」は、国内外から多くの招待者を招き、植樹活動や式典行事、様々なアトラクションを通して、福島の森林林業の再生や、これまでに頂いたご支援への感謝の気持ちと、復興に向かって強く歩み続ける姿を広く発信する大会でした。

全国植樹祭の開催を契機に高まりました県民の皆様の森林づくりへの意識を一過性にとどめず、開催理念を引き継ぐ「ふくしま植樹祭」を今年から開催するため、8月31日に福島県や県内森林林業関係団体などにより構成するふくしま植樹祭実行委員会を立ち上げました。

この植樹祭では、ふるさと再生への思いを込めた植樹活動等を行い、未来へつなぐ希望の森林づくりを発展させていくことを目的に、県内外から多くの方々に、来て、見て、福島の元気な姿を実感していただき、復興支援への感謝の気持ちを発信するとともに、福島への応援と共感の輪を広げてまいります。

第1回目となる今年の植樹祭は、平成30年11月4日(日)に、南相馬市鹿島区北海老地内の海岸防災林で開催します。

海岸防災林の主要樹種であるクロマツの植樹・育樹や、地元在来種のタブノキ、スタジイなど広葉樹の植樹活動により、いのちを守る防災林づくりに取り組んでいただくとともに、会場内において、地元農林水産物の販売や、木工・薪割り体験などの楽しいイベントを用意しております。

さらに、今回の植樹祭には、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんが、福島の復興を応援するために参加されます。海老蔵さんは、平成26年度から志賀高原の閉鎖したスキー場を森林に戻すための植樹活動、『信州・志賀高原から始まる市川海老蔵「いのちを守る森」づくり=ABMORI』に取り組まれており、人と森との関わりを創出し、広く森の再生を呼びかけられております。

多数の参加をお待ちしております。

参加の申し込みの期限は、10月20日(土)までで、3,000名の定員に達し次第、締切とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

○申し込み方法

〈インターネットからの申込み〉

アドレスは、

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/>
福島県ホームページ（森林保全課）からリンクできます。

〈ファクスからの申込み〉

第1回ふくしま植樹祭チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、
FAX 024-991-4741に送信できます。

○申込み問い合わせ先

ふくしま植樹祭実行委員会事務局 TEL 024-933-9666

林業研究センターだより

「福島といえば桐だよね そうだ、キリを植えよう」



キリ植栽風景

福島県林業研究センター
林産資源部 手代木 徳 弘

【はじめに】

福島県の特用林産物といえば、会津桐が有名です。

近年、時代の変化等により桐離れが進んでいるものの、桐はやはり会津桐という声が全国各地でも聞かれる。国産桐材のNo.1ブランドです。十九世紀から二〇世紀にかけて箆箆や下駄、琴の材料として全国に流通し、一世を風靡していました。しかし、最近の需要の変化で、下駄は履かなくなり、嫁入りに桐箆箆という話も聞かれなくなりました。かつては女性の嗜みとされていた琴も、めっきり見かけなくなりました。会津の桐産地については、桐生産者の生活様式や労働環境の変化により、桐の保育管理に関する状況が変化していった一方で、桐材の高騰等

て調査していますが、その結果、一部の高級品の需要は底堅く、箱材や新規用途等で現場ではキリ材不足の状況なのです。会津桐も伐採できるキリがあれば、いくらでも売れる状態なのです。全国的に蓄積不足であるうえに、近年は植栽がほとんどなく、いくらキリの伐期が早いとはいえ、そう簡単には供給不足が解消されないことが国産桐を取り巻く大きな問題です。

「そうだ、キリを植えよう」。

キリを植えると「病気が心配」「後の手入れが大変」とかよく言われています。それを解決するのが福島県林業研究センターが開発した「玉植苗」と「栽培の省力化」なのです。土壌や根系由来の病気を持たず、植栽時の雪囲いや獣害予防が不要で一年目に三〜四割の成長が見込めます。

新技術による苗木を使って植栽を行ってみませんか。植栽放棄地や一部のスギ伐採跡地に最適です。最低限の手入れで「三〇年後に一本五万円」。キリで夢を見ましょう。

【玉植苗の開発に関する研究】

無機質資材を使い、ハウスで施設栽培された特殊なポット苗をポットのまま台切りし、その後植栽する形式の苗木です。いわゆる幹や枝がない根系のみの苗なので、運搬に便利で、植え付け後に地上部がないた



玉植苗

め、支柱も、雪囲いも、野兎野鼠避けの仕掛けも不要です。適地とその後適切な管理さえ行えば、確実な成長が見込める「It's so cool.」な苗といえます。

【栽培の省力化に関する研究】

栽培の省力化として、次の四点について現在研究中ですが、今回は玉植苗を中心に説明します。

- 1 玉植苗と植栽の機械化による省力化
 - ・ 玉植苗の開発
 - ・ 植栽作業の機械化と植栽方法の検討
- 2 下刈りの省力化
 - ・ 有効なマルチングの種類と方法
- 3 薬剤散布の省力化
 - ・ 樹幹塗布薬剤の検証と獣害忌避効果
- 4 桐材用途の変化に対応した育成管理
 - ・ 求められる会津桐の規格や品質

の調査
過去の桐名人達の技と思想の聞き取り調査

【研究内容と結果】

【試験方法】

- 平成二八年度に作製した玉植苗（四〇センチポット）を平成二九年四月に場内圃場に定植した。
- 過去に定植し、台切を行ったものと併せ、次の三種類の実生苗に關し、平成二九年十一月に定植後一成長期の樹高を調査した。

ア 玉植苗…平成二九年四月定植（n=15）

イ 一回台切（ポット苗）平成二八年六月定植、平成二九年三月台切（n=11）

ウ 二回台切（ポット苗）平成二七年六月定植、平成二八年三月

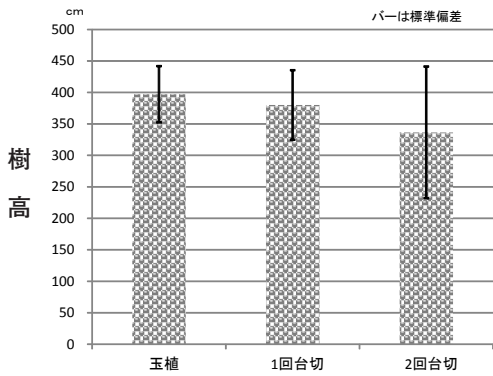


図1 玉植苗と代キリ苗の植栽後7ヶ月目（1成長期間）の樹高比較

月、平成二九年三月台切（n=24）

- バックホーを使用した春植えで、堆肥・鶏糞各五〇キログラム／本を基肥とした。

【結果】

- 植栽一年目における玉植苗の成長は、現地で一般的な施業である一回台切と同等であった。なお、二回台切はばらつきの大い結果となった（図1）。
- 玉植苗は、幹曲が少なく、皮目がきれいである（目視）。

【終わりに】

桐植栽を推進するためには、まず始めに苗木生産を行う事業者さんの育成が重要です。今期の研究も終盤に入り、玉植苗作成から植栽までのマニュアルを進めているところですが、マニュアルに書ききれない技



玉植苗植栽状況



ハウス内での育苗風景



ハウス内での育苗風景

や管理の肝などがたくさんあります。今後は、玉植苗に関する技術移転が大きな課題となりますが、できる限りサポートさせていただきますので、興味を持たれた方はご連絡ください。ツボを押さえれば、初めての方でも最小限の施設で簡単に玉植



H29. 4. 5 植栽玉植苗 H29. 5.30現在



植栽後1年 右玉植苗、左2年生台切り

苗を作成することもできませんし、桐一筋に生きてこられた名人の方の要望にもお答えすることができると思っています。
「福島といえば桐だよね そうだ、キリを植えよう」。

東北・北海道ブロック 平成30年度林業グループコンクールに参加して ～やまもり会@霊山(伊達市)が発表を行いました～

福島県北農林事務所 彌勒地 浩 太

東北・北海道ブロック林業グループコンクールが北海道茅部郡森町「グリーンピア大沼」を会場として、8月27日から28日にかけて開催されました。

本県からは、県林研グループ連絡協議会会長の豊田新一氏と発表を行う伊達市の「やまもり会@霊山」の玉手孝行さん、佐藤悦美さんが参加しました。

初日は、林業グループコンクールや講演会が行われました。

コンクールでは、各道県から7件の事例発表があり、「やまもり会@霊山」は5番目に発表を行いました。



やまもり会@霊山による発表状況

発表内容は、平成28年2月に創設された当会が「やまもりで晩酌を！」をコンセプトに取り組んできた活動報告です。当会で実施してきた美しい里山をつくる里山林整美（備）プロジェクトや林業女子の参加、間伐材・廃材の資源化・有効活用、体験できる場と機会の提供という4つの活動事例を紹介し、「市民主体の活動」や「地域おこし」を念頭に置いたうえで、地域に小さな“生業”を創出し「稼ぎ」を生み出す活動が、未来への可能性を拡大する生業（ナリワイ）につながっていくという活動理念を発表しました。

各道県の発表終了後に、「森と川と海のつながり」と題して地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場の長坂研究主幹の講演があり、続けて、各団体の発表に対する審査報告及び講評、表彰が行われました。第1位として全国林業グループコンクールに推薦が決まったのは、宮城県の仙南フォレストクラブで、地元農林高校の林業カリキュラムを体験型へと変更し、卒業生の林業事業体への就業が増えた事例が評価されました。

やまもり会@霊山については、「若いチームで元気がある。地域の悩みを聞き、楽しく取り組んでいることが面白い。」という講評をいただきました。

2日目は現地視察が行われました。1箇所目は、森町林業グループが行っている木材を利用した環境の保全についての活動を視察しました。森町林業グループは、平成11年より木炭を詰めたコンテナを小川に入れて水質浄化に取り組んでおります。

2箇所目は、地域の中核的な製材工場を視察しました。当工場は製材・加工・プレカット、集成材生産を行う大規模な工場で、福島では珍しいトドマツの製材状況を見ることができました。

最後に視察した80年生のスギの長伐期林分では、指導林家である所有者の方から、森林への想いやこれまでの施業の内容について詳しく説明を受けることができ、活発な意見が交わされました。

今回、北海道という福島とは自然条件の異なる地域の視察であったため、非常に学ぶことの多い視察となりました。



木炭を使用した水質浄化の取組



地域材製材工場



スギ長伐期施業林分の視察状況

浅川町立あさかわこども園

【浅川町学校教育課】

1. はじめに

浅川町では、少子化や多様化する保育ニーズへの対応、老朽化した施設への不安を解消するため、町内の保育所・幼稚園を統合し、幼保一体化施設としてあさかわこども園を建設しました。こども園は、0歳児から2歳児までの保育部と3歳児から5歳児までの幼稚部からなり、充実した保育及び教育施設としての機能の他に、多目的ホールや交流スペースも併設されており、町の子育て支援施設として位置付けられています。

また、平成31年度から3つの小学校が統合され、こども園、小学校、中学校が各1校となり、それぞれが連携しながら、子育て支援や教育の一層の充実を図っていきます。



全 景

2. 建築概要

- 建築名称 浅川町立あさかわこども園
- 発注者 浅川町長
- 所在地 石川郡浅川町大字箕輪字坂前137番地
- 開園 平成30年4月1日
- 規模 最大収容可能人数：保育部72名 幼稚部160名 計232名
構造：木造平家建て
敷地面積：13,821㎡
延床面積：2,429㎡
- 内部概要 床(廊下)：杉厚物張り t=30mm
腰壁：杉板張り t=12mm
- 空調 冷暖房：パッケージ型エアコン (各室)
暖房：床下暖房 (灯油)



多目的ホール2



教室 (ひよこ)

3. 木材の利用

こども園の建設に当たり、浅川町幼保一体化施設整備基本計画に沿った「木のぬくもりや自然を感じられるフレキシブルな屋内空間」「子どもがのびのび遊べる広さと自然あふれる屋外空間」の建設を進めるため、構造は木造とし、その建築資材については、できる限り県産材を活用することとしました。廊下の柱には唐松集成材の丸太材を使用し、廊下の床は杉材のフローリング、天井の一部には、木材での在来構造で強度を確保し、高く広い空間となっています。



廊下 (保育部)

4. おわりに

当町では、木質材料を積極的に活用し、身近に木の存在を感じるにより、森林環境保全の意識の醸成と環境にやさしい省エネルギーを図っています。



園舎外観 (中央)



廊下 (職員室→幼稚部)



自由民主党福島県議会議員会

県議会各会派からは「要望事項はしっかりと受け止めた。実現できるような努力する。」との力強い回答をいただきました。

復興の加速化を図り、森林を将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、表に掲げる○項目を要望しました。

【平成31年度福島県予算編成に対する要望事項】

1	第69回全国植樹祭及び第47回全国林業後継者大会の成果継承	
	・ふくしま植樹祭の開催支援 ・植樹祭式典会場跡地の活用、大会記念品展示施設の整備	など
2	避難指示区域等の森林管理の具体的取組の推進	
	・里山再生モデル事業の促進とその成果の県内全域への拡大 ・放射性物質拡散抑制対策、森林機能維持のための制度創設	など
3	林業担い手及び林業事業者の確保・育成	
	・林業大学校等の早期設置 ・森林経営管理法を踏まえた林業事業者の育成・強化	など
4	森林整備の促進と新たな森林管理システムの運用に向けた支援	
	・ふくしま森林再生事業の継続と中長期的な予算の確保 ・再造林促進のための支援制度の拡充、優良苗木の確保と安定供給 ・新たな森林管理システム創設に伴う市町村支援	など
5	県産材の安定供給体制の確立	
	・主伐・再造林への支援による素材生産量の増大 ・バイオマス資源としてのチップ用材の安定供給	など
6	県産材の需要拡大	
	・県有施設の木造・木質化を推進、加工・流通施設の整備支援 ・森林認証取得の支援、認証森林から生産される木材の需要拡大	など
7	きのこ類の生産振興	
	・県農産物安全認証制度の取得支援 ・県オリジナル品種の産地化推進	など
8	海岸防災林の再生	
	・保育管理の予算確保、地域住民や森林づくり活動団体等の参画支援 ・工事発注の平準化、工事資材への地域木材の活用	など
9	治山施設の整備	
	・山地災害危険地区に対する効果的な防災・減災対策の推進 ・小規模な山地災害等箇所での早急な復旧の推進	など
10	復興・創生期間終了後の森林林業の再生への取組の継続	
	・ふくしま森林再生事業など森林整備事業の継続実施 ・山菜・野生きのこのモニタリング、出荷制限解除に向けた取組の継続 ・安全なきのこ原木等供給事業の継続実施、広葉樹林の伐採、更新の継続支援 ・県産材の樹皮処理対策や放射能検査の継続支援	など

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係十団体で構成していま

九月三日、平成三十一年度福島県予算編成に対する県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では「森林・林業の再生なくして福島県の復興はない。」との強い思いから、

平成三十一年度
福島県予算編成に対する要望聴取会
福島県林業会議



福島県議会県民連合議員会



日本共産党福島県議会議員団



公明党福島県議会議員団

林業担い手の確保に向けた取組 について

いわき農林事務所
林業普及指導員 古川 成 治

いわき地区の民有林面積は、58,039haで、このうち人の手を加える必要のある人工林の面積は33,039haです。人の手を加える必要のある人工林率は56.9%で、県平均の36.7%を大きく上回っています。

このような状況の中、管内の林業事業体等は新規雇用者の確保に努めているところですが、労働力の不足が慢性化しており、地域の活性化と森林再生のためには、林業の担い手確保は喫緊の課題となっています。

平成28年度から始まった緑の青年就業推進事業（高校生林業見学会）は、林業分野への新規就業者の確保に向け、高校生や高校教諭を対象とした見学、作業内容の体験を実施し、林業に対する興味や関心を高め、若年層の就業促進を図ることを目的としています。

今回、緑の青年就業推進事業を行った福島県立遠野高等学校は、林業業界への就業者の多い学校で、高校生に林業や木材産業の魅力を伝えることができれば林業関係への就業につながる学校の一つであり、平成29年度から林業見学会に向けた打合せを行っています。教頭先生や進路指導の先生と事業の話を進める中で、授業で実施するのであれば、カリキュラムの都合上、午前もしくは午後の半日単位で実施して欲しいこと、生徒に興味を持たせるために体験活動の時間を含めることを考えて欲しいとの要望がありました。

そこで、時間的な制約や生徒の体験活動を考慮し、今年度は、農事組合法人いわき菌床椎茸組合のしいたけ生産現場の見学、しいたけの収穫およびパック詰作業の体験を行うとともに、森林整備や木材加工等の林業の仕事についての話を行う体験学習を企画し、平成30年9月11日に遠野高等学校普通科（商業選択）3年生の19名を対象に実施しました。

同組合の渡部理事から特産品「いわきゴールドしいたけ」の栽培などについて説明を受けた後、生徒は職員の案内で施設の見学やしいたけの収穫体験、パック詰体験を行いました。生徒たちは、菌床からしいたけが発生しているところを見るのは初めてとのことで、職員の説明を聞きながら一つ一つ丁寧にしいたけを収穫していました。また、クリーン度の高い包装施設では、やや緊張した面持ちでこの傘の大きさや重量を確認しながらパック詰体験を行いました。普段は引っ込み思案で質問等をしない生徒たちが、笑顔を交えながら職員に質問している状況を見て、引率の先生が改めて体験活動は重要だと話していました。

来年度も継続して事業を実施してもらいたいと高校からの要望があったことや、生徒からもチェーンソーや下刈り機に実際に触れてみたいとの話もあり、制約される時間や安全対策を考えながら、今年度実施できなかった伐採現場や製材所等をフィールドに加え、どのようなメニューであれば生徒たちに関心を持ってもらえるのかなど、林業関係へ就業してもらおうことを念頭においた活動を実施したいと考えています。



しいたけの収穫体験



しいたけのパック詰体験

森林管理署メモ

「国民参加の 森づくりによる 森林整備について」



スキー場跡地の遠景

当署管内における国民参加の森づくりによる森林整備についてご紹介いたします。
西郷村の赤面山国有林に所在するスキー場は、財政破綻をして平成十二年から営業を中止。その後原状回復が行われず、法的な問題もあり現在に至っています。また、この間ゲレンデからは土砂が流出し、荒廃した景観や損なわれた保全



植林前の状況

機能に対して心配する声が上がっていました。
そういった状況の中、今般の植生回復についての気運の高まり、国土保全や緑化推進に資することから、国民参加の森づくり事業を活用した「ふれあいの森」を平成二十七年三月三十一日に「赤面山を緑にする会」と協定を締結し、ボランティアによる植樹活動を始めました。



「赤面山を緑にする会」は、地域の山岳会や環境団体、企業などが会員となり組織されたボランティア団体で、協力団体として、環境省日光国立公園那須管理官事務所・西郷村・（独）那須甲子少年自然の家と共に当署も参加しています。
「会」では、荒廃したゲレンデ跡地にヤシヤブシ・ヤマハンノキ等の広葉樹を植樹し、植生の復元に取り組む活動を行っています。
平成二十七年五月にはミズナラ二〇〇本とヤシヤブシ二〇〇本の植林を二二名の参加で実施し、十月にはブナ・ミズナラ・ヤシヤブシ・ダケカンバの実生苗の採取等を行いました。
平成二八年五月にはブナ一五〇本の植林とススキ五〇株の移植を四六名の参加で実施し、十月にはヤシヤブシ、ヤマハンノキ及びミズナラの採取や西郷村の小学校にミズナ



植林活動

ラのドングリの提供等を行ってきました。
平成二九年五月にはヤシヤブシ、ヤマハンノキ、ブナ一九〇本の植林、ススキ五〇株の移植を三三名参加し実施しました。また、赤面山山開きで、山の現状と会のPRと共に参加者に苗木五〇本の荷上げを依頼し植林をしました。九月にはヤシヤブシ三〇本を試験的に秋植を行いました。
本年五月にはヤシヤブシ、ヤマハンノキ二二〇本を三〇名参加し植林を実施しました。赤面山山開きにはヤシヤブシ、ヤマハンノキ一四〇本を参加者に荷上げを依頼し植林しました。
今後、植栽木の遺伝子的攪乱を防止するため、近隣の林分から採種した種子から育てたヤシヤブシやヤマハンノキ等の苗を植林し、赤面山が元の緑豊かな山になるよう活動して行く予定です。



平成30年に植林したヤマハンノキ等の状況

木連だより

木造建築普及促進 セミナー



講師 日田木材協同組合 理事長 瀬戸亨一郎氏



県木連が後援している「第三回木造建築普及促進セミナー」が平成三〇年八月二四日、福島市の福島県建設センターで開催され、建築士など約五〇名が参加しました。今回は、大分県の日田木材協同組合 理事長 瀬戸亨一郎氏による「意外と遠い建築業界と木材業界の非常識」と題した講演が行われました。瀬戸氏は、今の建築トレンドは木造ビルで、欧米ではすでにこのトレンドが来ていること、再生可能な木材の積極的利用が地球温暖化対策の切り札であり木材が未来を担う材料であることなどを説明すると共に、設計の自由度や地域経済への貢献度などの木造建築の良さと木材強度の異方性、含水率と収縮など木の材料としての特性を解説し、木材を構造材で使ってもら

うには、JASが必須条件であることを説明されました。

さらに、建築士の皆様に、他の建築士との差別化からも木造建築設計ができる建築士になってもらいたいこと、木は奥深く、興味の尽きない材料であることから、ぜひ木に興味を持ってもらいたいことをお願いしました。

最後に、瀬戸氏が手がけた木造ガソリンスタンドや大型公共建築物の建築事例を紹介しながら、木材建築促進のための対策として、規模に応じた木材供給体制の確立、木造建築技術の合理化による建築コストの競争力の強化、木材や木造建築コスト情報提供体制の確立が必要なることを解説されました。

我々製材業界には、製材工場の課題を指摘したうえで、決められて品質・規格の製品を一定量、自動的に供給することが求められていることを、教示されました。

木材建築普及促進セミナー

木材や木質材料の基礎を学び、住宅性能向上の設計ポイントや多様な中大規模木造建築の習得を目的に、シリーズ（月一回程度で全六回）でセミナーを開催。

対象者は、木造住宅設計や中大規模の木造建築物を手がけることに興味と意欲のある県内の建築設計者。

・セミナーの概要

第一回 六月十一日

① 林業・木材産業の現状

② 木質材料の知識

第二回 七月十一日

現在建築における木材のデザインからサステナブルな木造建築へ

第三回 八月二四日

① 木材製品の発注において注意すること

② JAS材を手に入れるのは

第四回 九月十三日

① 木質材料と構法から考える木造建築物

② CLTの考え方

第五回 十月十六日(火) 十時～

木造建築物や木材市場等の現場視察
講師：東京大学名誉教授

安藤直人氏

第六回 十一月八日(木) 十三時～

① 木材調達の現状と課題

② 需要動向から見た今後の木材利用の展開

(持続可能な木材調達に向けて)

講師：筑波大学 生命循環系

准教授 立花 敏氏

・申込み・問い合わせ

福島県地域型復興住宅推進協議会

(事務局) 福島県建築士事務所協会

TEL 〇二四一五二一四〇三三

FAX 〇二四一五二一五〇八七



「君の椅子」贈呈式

成三〇年六
そして、平
協定を締結
しました。
プロジェクト」と
七番目)「君
の椅子プロ
プロジェクト」



「君の椅子」



「君の椅子」に座る「しみちゃん」



「あぜりあ」内部



「あぜりあ」の内部(木製棚に置かれた胡蝶蘭「ホープホワイト」)

葛尾村は、平成二八年六月十二日に、避難指示解除準備区域及び居住制限区域が解除され、多くの地域で居住できることになりました。村は、東日本大震災からの復興・再生を加速化し、帰還・定住できる環境の整備に鋭意取り組んでおり、その中の「君の椅子プロジェクト」など木材を使用した取組を紹介します。

○はじめに

○君の椅子プロジェクトへの参加

君の椅子プロジェクトは、「向こう三軒両隣」のコンセプトのもと、子ども達に「生まれてくれてありがとう」、「君の居場所はどこにあるかな」との思いを込めて木製の椅子を贈る取組で、平成十八年に北海道で始まりました。贈呈する椅子は、北海道産の木材を使用し、毎年デザインが更新され一腳ずつ手作りで作されます。椅子の裏面には子の名前、生年月日、シリアルナンバーが刻印されていて、「世界に一つの椅子」になっています。
村では、プロジェクトの理念に共鳴し、「みんなで子どもの誕生を祝い、地域の絆を取り戻す」ことを願って、平成三〇年四月十三日に本県では初めて(全国では七番目)「君の椅子プロジェクト」と協定を締結しました。



木に触れて豊かな心を育む「木育」⑦

君の椅子プロジェクト(葛尾村)

林業福島事務局

月十六日には、本年一月以降に生まれた新生児三名に、初めて「君の椅子」の贈呈式を行いました。贈呈を受けた村民からは、「皆さんに祝っていたいただいたことをわかって、優しい子どもになって欲しい」、「木の温もりが感じられ、手触りが良い」、「大切に扱い、長い間使用していただきたい。」などの感謝の言葉をいただきました。

今後「君の椅子」の贈呈に当たっては、赤ちゃんは村の宝であることから、村民を代表して村長又は副村長が直接手渡すことを考えています。

○葛尾村復興交流館「あぜりあ」の開所
村が、全村避難からの復興のシンボルとして、人と人とを繋ぎ地域が活気づく拠点施設として整備を進めてきた復興交流館「あぜりあ」が、平成三〇年六月十六日に開所しました。「あぜりあ」の愛称は、村の花ツツジの英語読みを平仮名にしたもので、公募により決定しました。

木造平屋の復興交流館は、断熱効果に優れている縦ログ工法で建築され、県産の杉材がふんだんに使われ

ていることに加え、梁(はり)などは解体された村内の築二〇〇年以上の古民家「百石の家」の廃材が活用されています。また、復興交流館の整備に当たっては、住民や大学生がカウンターテーブル等の家具を製作したほか、農林中金福島支店及び双葉地方森林組合からは、木製のテーブルや棚等の寄贈を受けています。利用者からは、「木の香に癒され心が休まる。」と大変好評であり、村から管理運営の委託を受けている(二社)葛尾むらづくり公社では、「多くの方にお出でいただき、交流の場として活用していただきたい。」と話していました。

○おわりに

村の公式イメージキャラクター「しみちゃん」は、村の特産品である凍み餅のように、何事も諦めず粘り強いことが長所となっています。これから復興・再生に向けてご苦労が多いことと思われませんが、「しみちゃん」に負けず、何事にも粘り強く取り組み、魅力あるむらづくりが行われるようお祈り申し上げます。



素材の価格〈工場着価格〉(7月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		8 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14				12 (12~12)	0	(0~0)		11 (11~11)	0	12 (11~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (11~14)	0	11 (11~11)	0	12 (12~12)	0	12 (11~14)	0
						並	ヒノキ	19 (16~22)	0	15 (15~15)	0	16 (16~16)	1
			6.00	並	スギ			16 (15~17)	0	11 (10~12)	0	16 (16~16)	0
		並				ヒノキ	30 (25~35)	0	(0~0)		21 (18~24)	0	25 (18~35)
			20~28	3.65	並		スギ	11 (11~12)	△1	11 (10~12)	1	12 (11~12)	0
		4.00				並		11 (11~12)	△1	12 (12~12)	0	12 (11~12)	1
	4.00			並	アカマツ		9 (7~11)	0	(0~0)		9 (9~9)	0	9 (7~11)
		1.80	並			アカマツ	8 (5~10)	0	(0~0)		7 (6~8)	0	7 (5~10)
	外材			30以上	10.00		並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		29 (29~30)
		並	米マツ			(0~0)				34 (34~34)	0	29 (28~29)	0
28以下				3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		27 (25~28)	0	27 (25~28)
		4.00	並				アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	0
並	カラマツ			(0~0)		(0~0)			26 (25~27)	0	26 (25~27)	0	
		パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		6 (5~6)	0	6 (5~7)
並	広葉樹						9 (9~9)	0	(0~0)		6 (6~6)	0	8 (6~9)

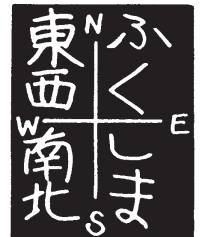
六月の原木市場への入荷状況は、前月比八割減(前年比九割減)の
 二二、六〇一立方メートルとなっている。
 販売量は、前月比六割減(前年比七割減)の二二、九三三立方メートル
 となっている。
 七月の価格は保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14				7 (7~7)	0	8 (7~8)	0
	16以上				14 (14~14)	0	10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

お菓子では、大きないちごがゴ
 ロツと入って食べ応え抜群ないちご
 大福、生地がサクサクとしてクリー
 ムがたくさん入ったシュークリーム
 があり、食堂では、長崎ちゃんぽん
 がおいしい店、ご飯やおかずがボ
 リユーム満点でメニューの種類も豊

一八六八年の戊辰戦争から一五〇
 年を迎え、縁のある地域では様々な
 イベントや企画展等が開催されてい
 ます。県南農林事務所森林林業部の
 ある棚倉町も、当戦争の最大の山場
 となる会津戦争の前に、新政府軍か
 ら攻撃を受けた場所となっており、
 戊辰戦争とは関係の深い地域となっ
 ています。
 棚倉町はかつて城下町であったこ
 ともあり、人口約一四、〇〇〇人の
 規模のわりには全国展開している
 チェーン店以外にも、菓子店、割烹、
 寿司屋、食堂、居酒屋が多くありま
 す。「棚倉グルメマップ」によると、
 食堂五八箇所、居酒屋七六箇所、お
 菓子屋等十三箇所の計一四七箇所と
 驚くくらいあります。



棚倉グルメ! 食の追求

県南農林事務所 三瓶裕生

富なお店、昔ながらのあつさりとし
 たラーメンと具がぎつしりと入った
 自家製餃子が食べられるお店など、
 それぞれのお好みで店が選べる充実
 ぶりです。
 まだまだ、語り尽くせぬ棚倉町の
 食の魅力に私自身取り付かれ、体が
 一回りも大きくなっている途中にあ
 りますが、摂取カロリーにも気をつ
 けながら、まだ未開拓の店を回り棚
 倉グルメをこれからも堪能してい
 たいと思います。
 なお、棚倉グルメマップは棚倉町
 のHPからダウンロードできますの
 でぜひご覧になってください。食欲
 と味覚の秋を迎える中、みなさんも
 棚倉町へお出かけになって美味しい
 お気に入りのお店を探してみたい
 かがでしょうか。



表紙の写真



「緑風たなびく」

第32回ふくしま緑の写真コンクール
金賞
受賞者 遠藤清作さん(いわき市)
撮影場所：北塩原村



俳句

毎週木曜日、午後七時から放送「プレバト!!」の俳句コーナーをご覧になったことはあるだろうか？俳人夏井いつき先生の添削は、辛口ながら、常に言葉の表現が的を射てる。ただの十七文字のかたまりに、直しが入ると、日常の背景や映像、情景までがふつと浮かんでくる。特に単語ひとつで激変する直しは、見事である。一瞬にして心をつかまれる。が、私のように才能なしの凡人には、されど十七文字である。

しかし、俳句はなぜ十七文字なのだろうか。俳句は音律を楽しむものであり、五七五の調べが心地よいのだという。調べによると日本人は、奇数を好む。一は、ひとつではなくただ一つ（唯一）。一年も一月一日に始まり、五節句も全て奇数日。その他にも日本三景、御三家、三大名物等々。短歌も五七五七七、手締めも三三七拍子であり、年忌法要も然りである。「日本人は、割り切れない絶対的な世界を目指したのかも知れない」と「奇数の文化と偶数の文化」には書かれている。一方、モーゼの十戒、キリストの弟子は十二使徒、オリンピック開催は四年に一度等々、欧米諸国では、なるほど、ちょうどした安定が好まれているに違いない。

また、俳句には、季語がはいる。この季語が入ることで、お互い共通認識をもつことができる。そして、残りには厳選された情報が埋められていく。俳句は、情報過多の時代に、日本の美しい季節と言葉の妙を再認識させてくれるのではないだろうか。夏井先生曰く「俳句を詠むときには、季語が五文字、残り十二文字を埋めればよい」と。実にシンプルだ。「秋深し…」指をおりながら、十七文字を埋めてみてはいかがだろうか。(都)

夏井いつき先生講演会

10月31日(水) 午後3時
於：福島市 エルティ
「言葉育てる 心を育てる」
お問い合わせは、県造園協会
(024-593-0039)まで

編集 福島県内四森林管理署
福島県森林・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
(福島市中町五番一八号県林業会館内)
発行 行 陽光社印刷株式会社
発行人 水戸 明
(定価 一〇八円)

お知らせコーナー

第43回福島県林業祭を開催します

福島県林業祭を次のとおり開催します。
森林・林業・木材産業の魅力等を感じていただける楽しいプログラムとなっていますので、多くの県民の皆様のご来場をお待ちしています。

- 1 日時 10月20日(土) 10:00~16:00 10月21日(日) 9:30~15:30
- 2 場所 郡山市安積町「福島県林業研究センター」
- 3 主なプログラム

- (1) 体験型プログラム…森のオークション、ツリークライミング、木工体験、スタンプラリー、平成30年度福島県チェーンソー選手権、ミニ☆コレin林業祭、木を使ったゲーム「クッパ」など
- (2) 見学型プログラム…森のコンサート、模擬上棟式と餅まき、チェーンソーアート、森の昔話、林業担い手の主張、編み組細工展示・体験 など
- (3) ブース型プログラム…全国植樹祭・全国林業後継者大会の実績展示・PR、林政に関する展示・PR、森林林業関係物品の展示・販売、飲食ブース など



4 併催行事

- (1) 森林・林業フォーラム ①日時 10月20日(土) 13:30~
②場所 郡山市「ホテルバーデン」
③講演 林業アーティスト 鳥居 由佳氏
- (2) 福島県きのこまつり (きのこ品評会、品評会出品物の展示・販売)
- (3) 森林の仕事ミニガイダンス

5 その他

- (1) 開会式 (20日(土) 10:00~) 参加者 (先着200名) に、大瓶なめたけプレゼント
- (2) 21日(日) 来場者 (先着200名) に、第69回全国植樹祭ロゴ入りバックプレゼント

6 お問い合わせ先 福島県林業振興課 (TEL 024-521-7426)

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



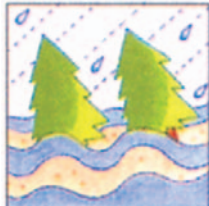
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



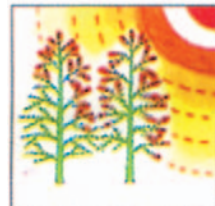
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



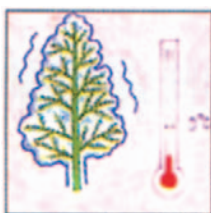
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新のGP-8コントローラを搭載

- ・5.7インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- ・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- ・A,B,C,Dの4コード毎に4種類、合計16種類の測長設定値
- ・樹種を4種類登録でき、個別に材長調整値の設定が可能



新開発のスタッドローラ(オプション)

- ・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(鋸)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- ・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンス



For the future with forest



イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリーンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL(巣処理用スプレー)
ハチノックS(携帯用スプレー)



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ TEL. 03(6740)7777
平日 9:00~17:00(土・日・祝日は休み)



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional

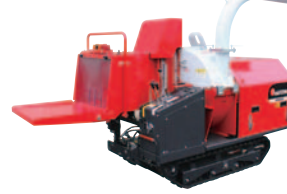


GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店
(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚 108-1